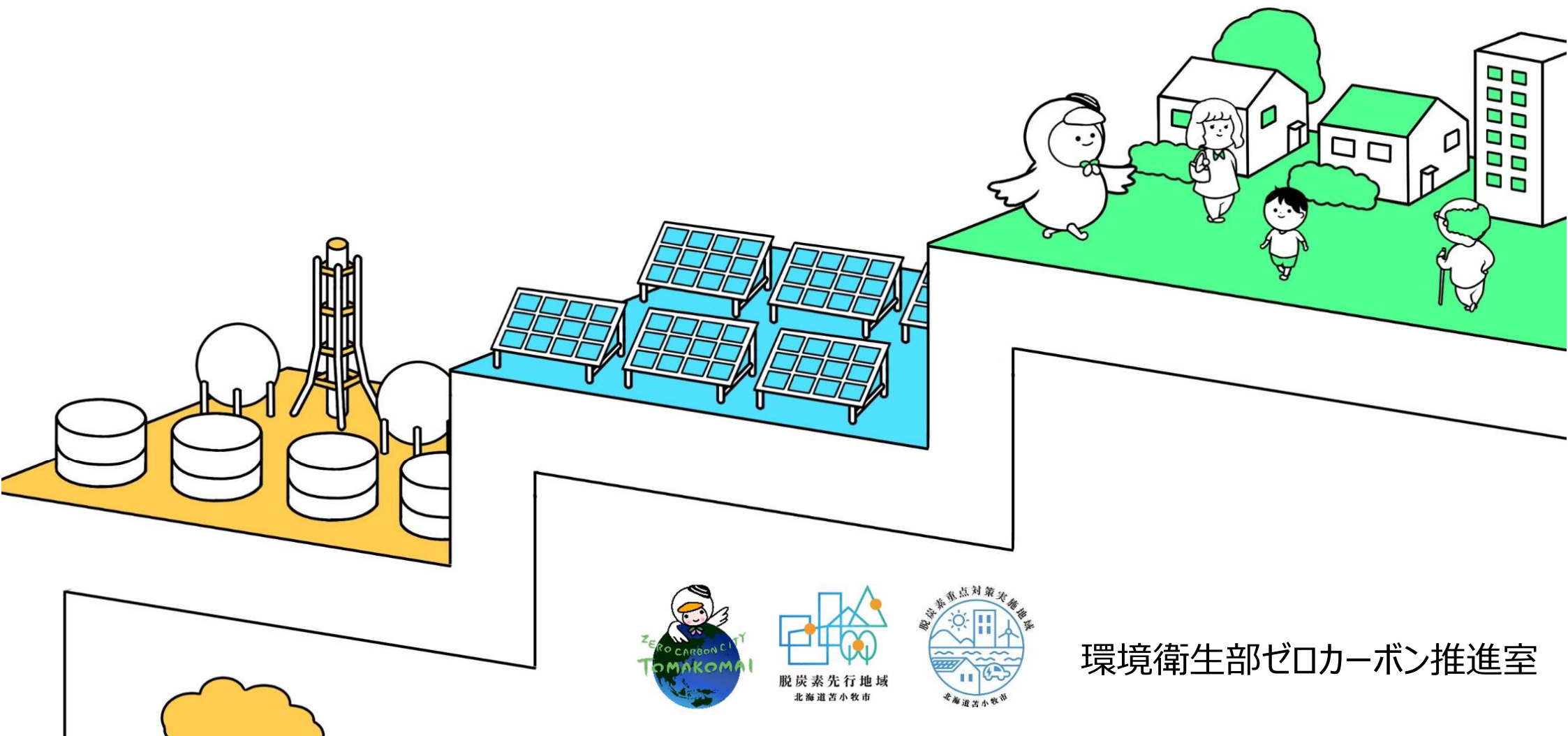


# 苫小牧市のゼロカーボンシティへの挑戦

2050 Zero Carbon City Tomakomai



環境衛生部ゼロカーボン推進室

ゼロカーボンやカーボンニュートラルとは、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの「**排出量**」から、植林・森林管理などによる「**吸収量**」を差し引いて、合計を実質的に**ゼロ**にすることを意味

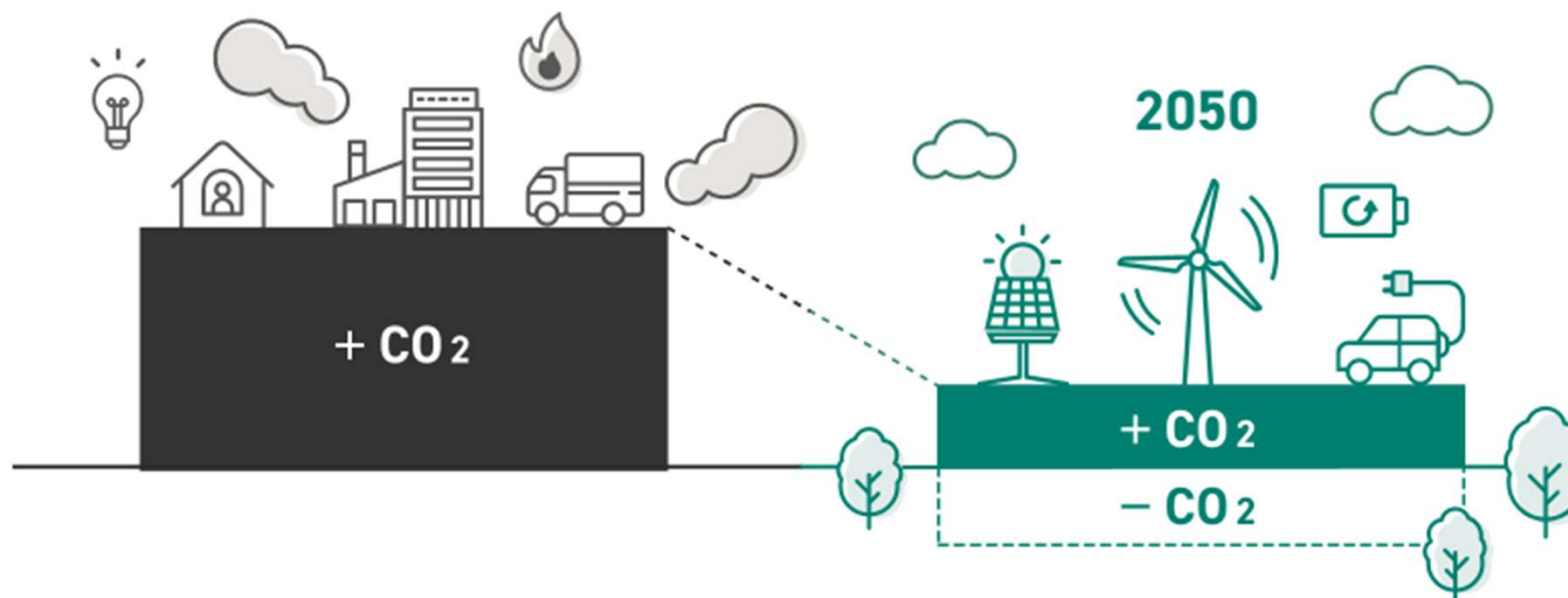
二酸化炭素を  
出す量

—

二酸化炭素を  
吸う(減らす) 量

=

0



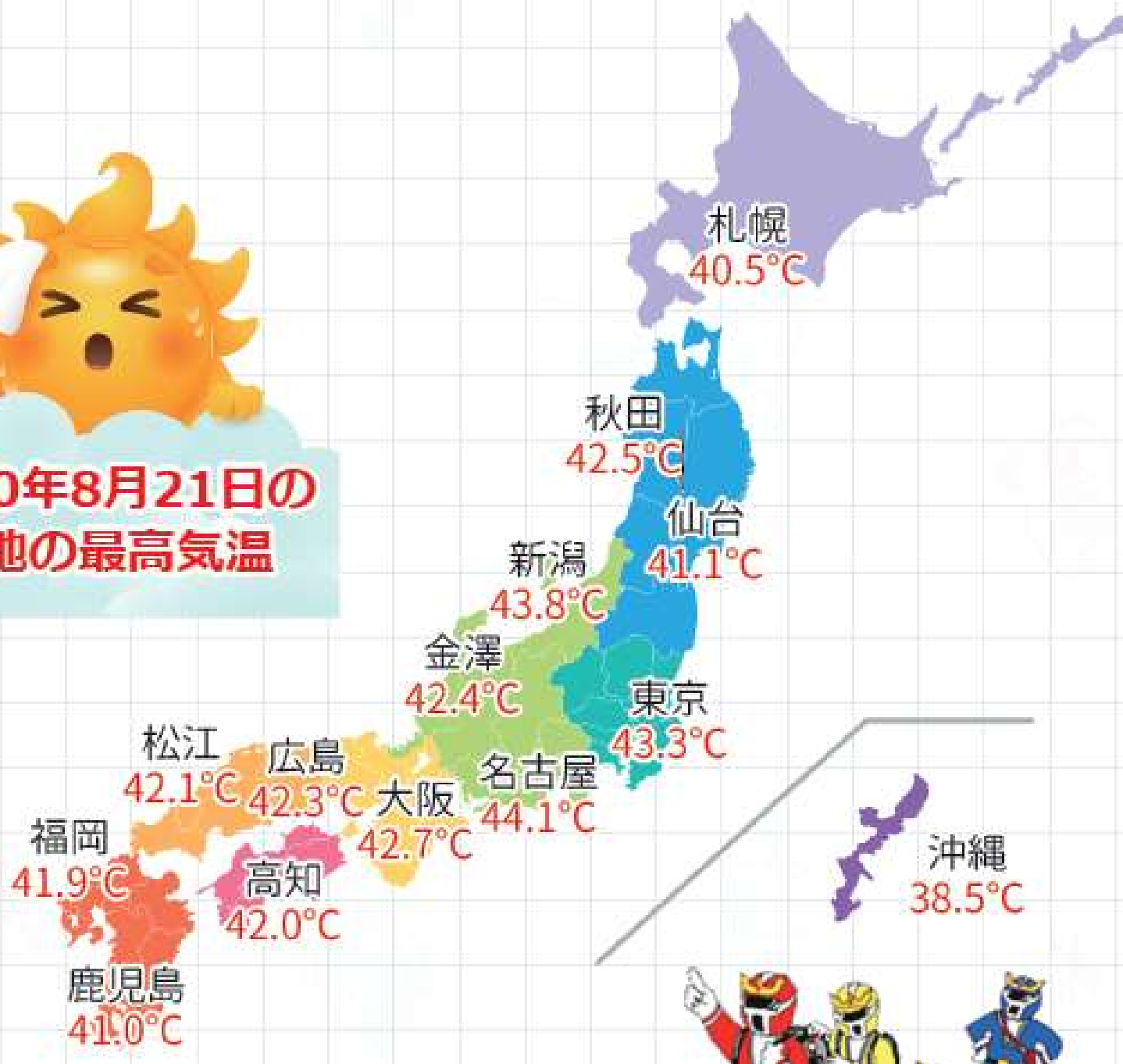
出典：環境省HPより作成

ゼロカーボンは、**地球温暖化対策**として取り組んでいかなければならない、世界共通の喫緊の課題

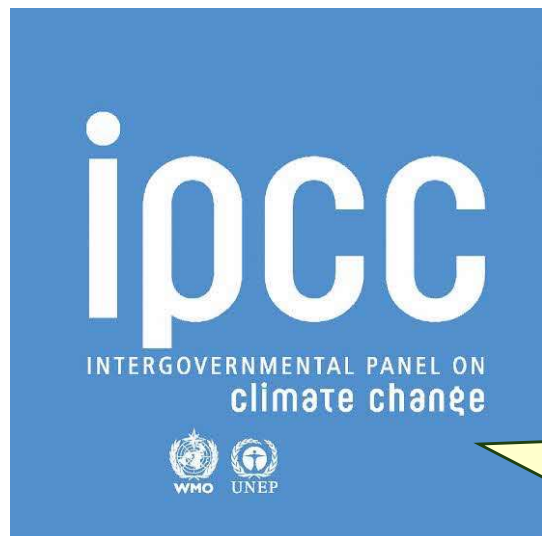
次世代に住みよい環境を残すため、今を生きる私たちが取り組むべきミッション



## 2100年8月21日の 各地の最高気温



出典：環境省HP



- ・IPCCは、世界気象機関（WMO）及び国連環境計画（UNEP）により1988年に設立された政府間組織
- ・2021年8月現在、195の国と地域が参加

世界中の科学者の協力の下、**気候変動に関する報告書**を作成



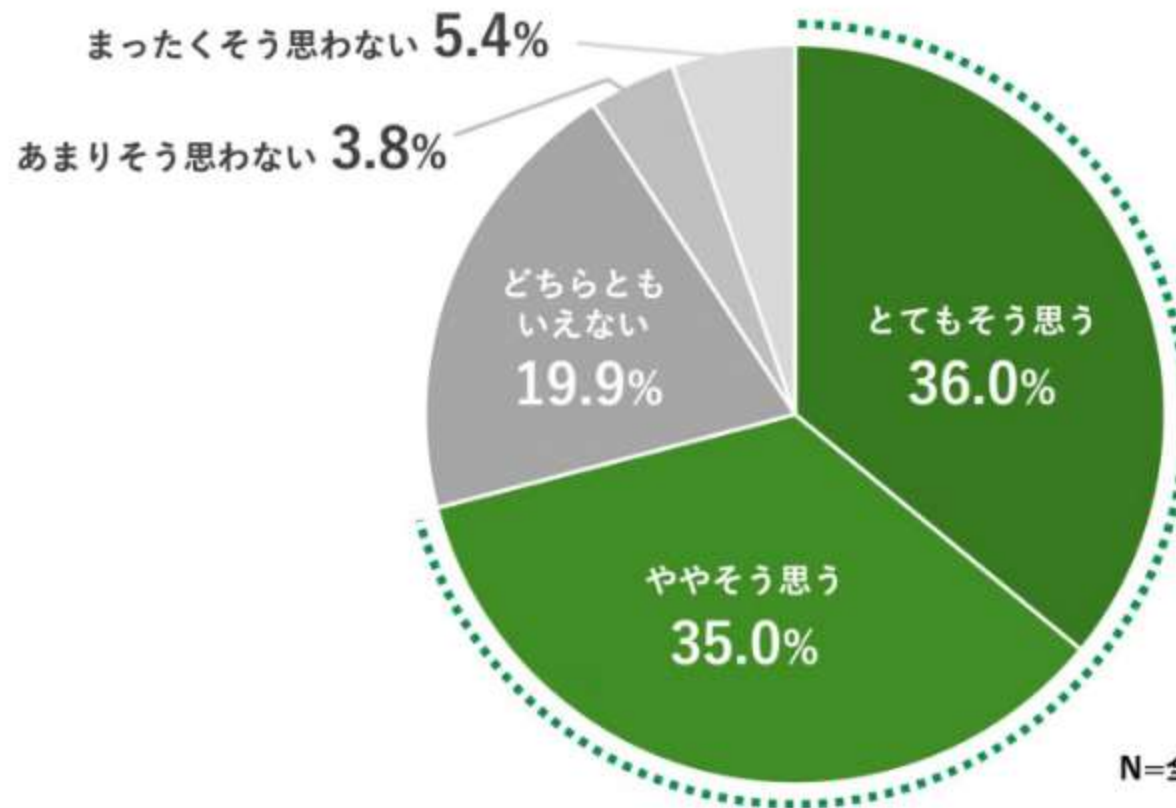
最新の第6次評価報告書（2021～2022年）では…

「人間の影響が大気・海洋及び陸域を

温暖化させてきたことには**疑う余地がない**」と評価

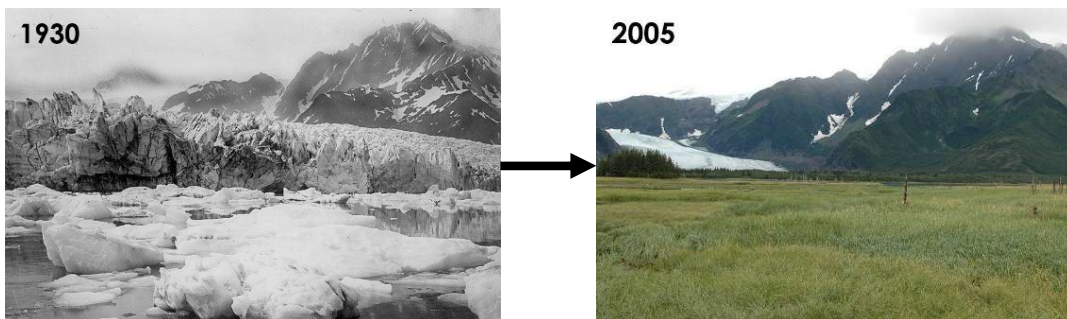
## 7割以上の親が次世代への危機感を抱いている

地球温暖化は、お子様やお孫様以降の世代に残してはいけない問題だと思いますか



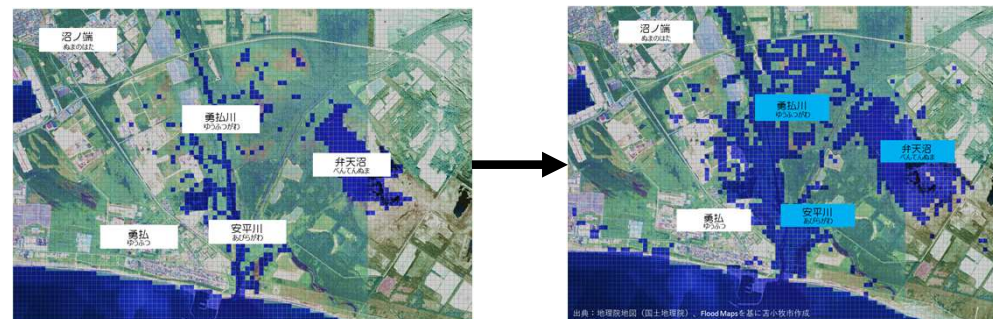


## ①氷河の融解



出典：アメリカ地質調査所（USGS）

## ②海面の上昇

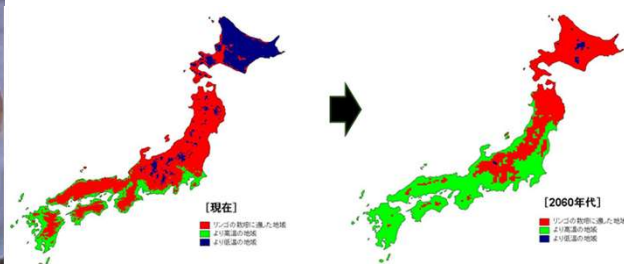


出典：地理院地図（国土地理院）、Flood Mapsを基に苫小牧市作成

## ③食料への影響



### りんごの栽培地の変化



## ④自然災害の増加

ゲリラ豪雨や大型台風など自然災害が多発



## ⑤新たな病気の蔓延

東南アジアなどの地域でしか蔓延しなかった感染症が、日本でも広がる可能性



## ⑥熱中症で倒れる人続出

熱中症死亡者  
**107人**  
(2023年)



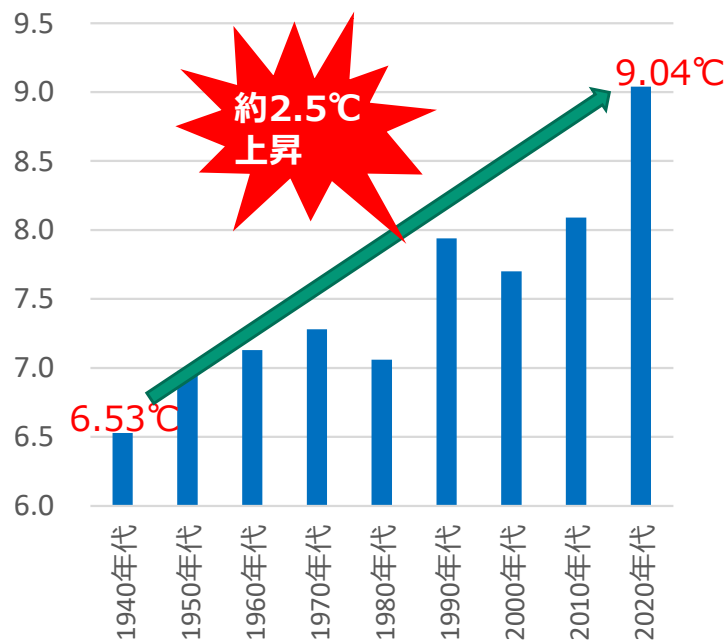
**1万5000人**  
(2100年)

※環境省「2100年の天気予報」より



- 苫小牧市でも温暖化の影響が及んでおり、1940年代と2020年代の平均気温を比較すると約2.5℃上昇。
- 最高気温30℃を超える日数が、50年間で1日から23日に上昇
- 最低気温-10℃を下回る日数は、50年間で約2/3に減少

(℃) <苫小牧市の年代別平均気温>



## “氷都とまこまい”ならではの温暖化の影響は？

昔は、公園や学校のグラウンドや公園に水をまいて作ったスケートリンクが子供たちの遊び場でした。しかしながら、近年では温暖化の影響によりスケートリンクが自然にできなくなっています。



学校リンクでのこどもたち（昭和45年）

<苫小牧市の気温変化>

|            | 最高気温   |        |       | 最低気温   |
|------------|--------|--------|-------|--------|
|            | 20-25℃ | 25-30℃ | 30℃以上 | -10℃以下 |
| 1970～1979年 | 610日   | 110日   | 1日    | 333日   |
| 2015～2024年 | 786日   | 251日   | 23日   | 210日   |

50年前は30℃を超える日は10年に1度の出来事だったが、近年は毎年2日のペース

苫小牧市は「**ゼロカーボンシティ**」の実現に向けて挑戦しています！



**2050年までにまち全体をゼロカーボンにする**

- ✓ 次世代を担うこどもたちが安全・安心に暮らしていける環境を受け継いでいくため、今を生きる私たちが取り組まなければいけない
- ✓ 「誰かがやればいいや」ではなく、一人一人が自分ごととして捉え、できることから取り組んでいくことが重要



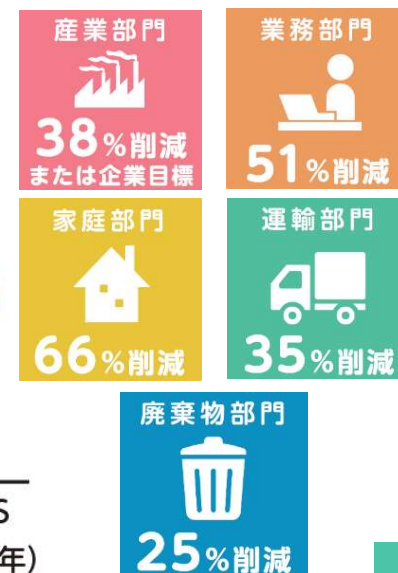
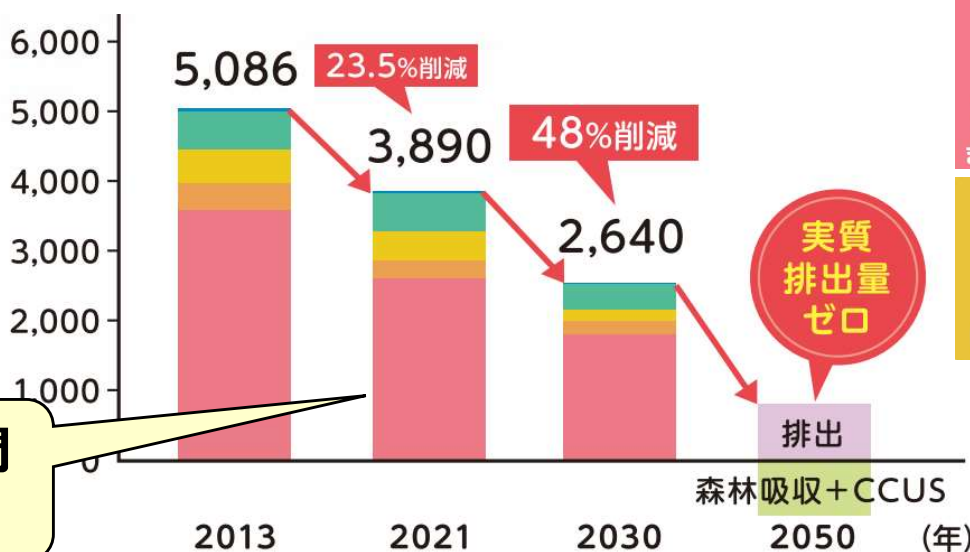
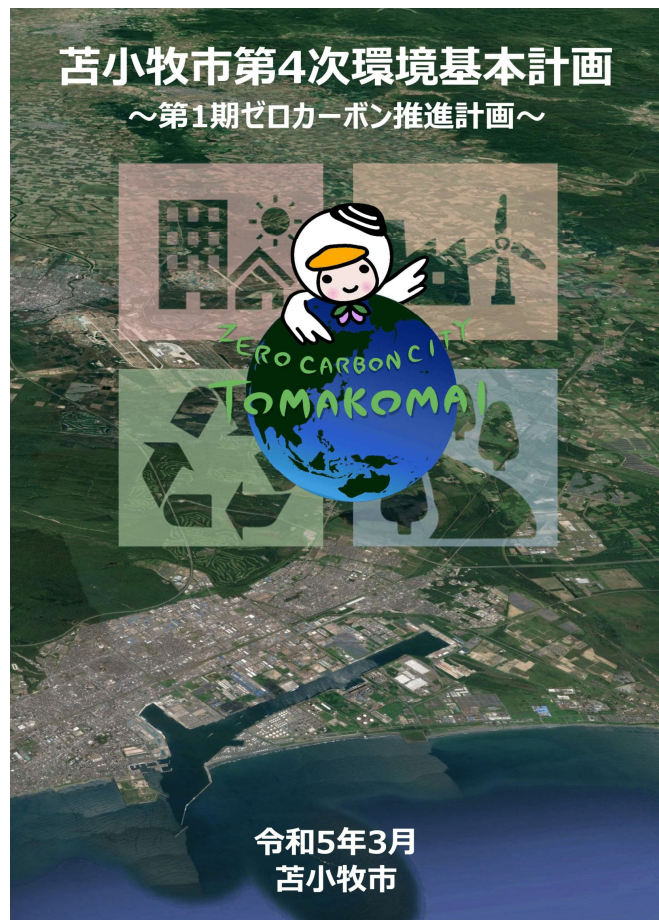
## 環境基本計画 ゼロカーボン推進計画

2050年ゼロカーボンシティに向けての中間目標

2030年までに

2013年度と比べて

**48%減らそう！**



本市の排出量の約7割は産業部門が占めている

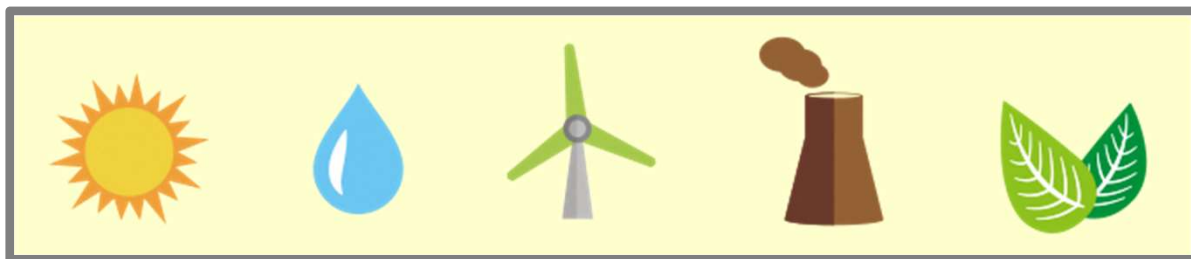
## 減らす

## 省エネ行動



## つくる

## 再生可能エネルギー



太陽光

水力

風力

地熱

バイオマス

## 吸収 (CCS、森林)





## ゼロカーボン啓発事業

### 〈ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！〉



- 令和5年度～6年度にかけて、「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>（コツコツ）いこう♪ 次世代のために」をスローガンに大作戦事業を展開。
- 環境基本計画の4つの基本目標を柱とし、2か年で約130の事業を実施、イベント等参加者数は累計7万人以上にのぼった。



### 〈530（ごみゼロ）の日〉



### 〈創蓄省エネルギー工作教室〉



### 〈ゼロカーボン企業見学ツアー〉



### 〈せせらぎスクール〉



### 〈ゼロカーボン講演会〉



### 〈ゼロカーボンポスターコンテスト〉



（令和7年度最優秀賞作品）

### 〈ゼロカーボンかるた大会〉



### 〈突撃！とまエコ企業！〉



### 〈森のお手入れ体験〉



大作戦事業終了後においても、引き続き様々な普及啓発イベントを実施！



## 公共施設10か所に太陽光パネルを設置

苫小牧東小・中学校



第1学校給食共同調理場



道の駅ウトナイ湖

建物外観



苫小牧市役所本庁舎駐車場



撮影箇所①



撮影箇所②



## 公募内容

- ・現在は長年使われていない市有地
- ・過去に土取場として活用
- ・太陽光発電設備を設置し、  
再エネ電気を100%市有施設に供給



非常に優れた提案だった  
**北海道ガス(株)を採択**

